令和7年度決算の概要

地方公会計制度に基づく財務諸表などを活用した一般会計決算を4日間集中審査

一般会計決算は、16名で構成する決算審査特別委員会を設置し、審査しました。

また、特別会計決算は市民厚生委員会、企業会計方式の下水道事業会計決算は建設環境委員会で審査し、それぞれ原案のとおり認定されました。

一般会計決算の審査から

令和7年度決算の特徴点について

問　主な内容を伺う。

答　決算規模は令和6年度の都市施設整備基金等3基金を統合した影響で歳入歳出ともに大幅な減。歳入は327億5400万円で前年度比15・3％の減。歳出は311億4000万円で前年度比16・4％の減。なお、基金の統合の影響額約68億円を除くと、歳入歳出ともに増で、歳入は市民税やデジタル基盤改革支援補助金の増、歳出は地方公共団体情報システム標準化事務の増によるものである。

令和7年度の公共施設の修繕状況について

問　実施状況を伺う。

答　公共施設グループにて執行した令和7年度の修繕は公共施設全体で78件。内容は建物所管課からの修繕依頼によるものや法定点検等の指摘事項是正のための修繕で、漏水等の給排水設備関係22件、照明等電気設備関係20件、空調関係18件、建具等の建築関係16件、消防設備関係2件である。法定点検の指摘事項等、早急に対応する必要があるものは令和7年度内に修繕を完了した。

災害対策について

問　例年と違う購入物品及び修繕料の内訳を伺う。

答　主な購入品で例年と異なるものは災害時用保健対策物品で、災害発生時に保健師が各避難所を巡回する際に使用する血圧計や体温計等。備品購入費では防災行政無線固定系蓄電池10か所分20個、防災行政無線移動系携帯局蓄電池27個、防災行政無線移動系司令卓パソコン用UPSバッテリー。修繕料では備蓄のリフィルバッテリーや防災行政無線固定系の基地局、自主防災倉庫等市内倉庫の床や扉等の修繕を行った。

収納率の向上について

問　市税の収納率増の要因は何か。

答　収納率増の要因は、差押えや捜索といった滞納整理業務を積極的に実施し、滞納者に誠実に向き合って納税交渉を行うなど、収納課の職員が一丸となって取り組んだ日々の積み重ねが成果として表れた。令和6年度導入の財産調査システムの活用も軌道に乗り、令和7年度は、年間で2万件を超える調査を実施できたことによる早期差押えの実施も収納率増の一因となったと考えている。

外国人防災啓発動画について

問　動画の再生数や成果の受け止めを伺う。

答　動画は災害発生時の行動や避難の情報などを「やさしい日本語」を含む10言語の字幕で作成し、再生数は令和8年9月7日現在、合計で507件。配信開始から約5か月間で市内における外国人住民の約1割の人数に相当する再生件数で、外国人住民向けの防災の周知啓発として、一定の成果が得られたと考えている。今後も外国人住民向け防災講習会などで、動画の周知を図っていく。

帯状疱疹ワクチン予防接種について

問　接種者数の内訳と、接種率を伺う。

答　令和7年度より開始した、帯状疱疹ワクチン定期接種事業の接種実施者は775人、内訳は、1回で接種完了の生ワクチン接種者が244人、2回接種が必要な不活化ワクチンで、接種完了が504人、1回のみ完了が27人である。令和7年度接種完了者における接種率は22・1％であった。

高齢者見守り相談事業の委託料について

問　委託の内容を伺う。

答　本事業の委託内容は65歳以上の独り暮らしの方や高齢者世帯を2名の相談員が訪問するアウトリーチ型の見守り支援で要支援者がいた場合は情報収集や生活実態の把握を行って、将来に不安がある高齢者の相談支援を行っている。また、対応困難な事例や介護保険の申請が必要な場合は早期に適切なサービスにつながるよう地域包括支援センターや介護サービス事業所等に引き継いでいる。

スポットビジョンスクリーナーについて

問　導入の目的及び実績を伺う。

答　スポットビジョンスクリーナーは数秒で目の屈折異常などのリスクを測定できる機器で、子どもの負担が軽減できることから令和7年7月以降の3歳児健診から導入。受診者数の6・3％に当たる15件の異常を判定したほか、令和6年度では検査を嫌がったり指示が理解できないなど、十分な検査を実施できなかった子どもがいたが、導入後は全員の検査を実施することができた。

空き家住宅除去助成金について

問　助成の基準と実績を伺う。

答　令和7年度実績は、戸建て住宅が8棟分で240万円、共同住宅が5棟分で364万1千円。助成金額の基準は上限額を戸建て住宅30万円、共同住宅100万円とし、助成対象は昭和56年5月31日以前に着工されたいわゆる旧耐震基準の建物で、1年以上居住の用に供していない空き家住宅及び門や塀など構造物の除却工事費用の2分の1または上限額の低いほうの金額としている。

幼保小中連携事業について

問　主な取り組みを伺う。

答　令和7年度は「福生版幼保小連携推進ガイドブック」を活用、保育者と小学校教員の相互参観、日常的な情報共有を柱とし、幼保小連携推進通信「かけはし」を年4回発行するとともに、学校の予定や児童の安全確保、感染症による臨時休業等を幼稚園、保育園等へ日常的に情報提供したほか、2月の連携推進委員会では幼児教育の有識者を講師に市内17園の保育者と全小学校の担当教員による研修会を実施した。

デジタルを活用したこれからの学び事業について

問　都教育委員会が作成した指導計画と実施内容を伺う。

答　令和7年度は「学びのプロセスを自ら決定する学習」をテーマに、都教育委員会が作成した指導計画に基づき、実践研究を行った。福生第七小学校では第2学年生活科「めざせ虫博士」で、虫の紹介動画の作成などでiPadを活用した。福生第二中学校では第1学年国語科で生徒が書いたエッセイをクラウド上で共有、他者との意見交換を通じ推敲を行った。



▲令和7年度一般会計決算を起立多数で認定

令和7年度　会計別決算額

（単位：円）

会計区分		歳入決算額	歳出決算額	残額（翌年度繰越額）
一般会計		32,754,440,633	31,104,423,570	1,650,017,063
特別会計	国民健康保険特別会計	6,613,179,242	6,253,281,263	359,897,979
	介護保険特別会計	5,499,631,597	5,210,054,441	289,577,156
	後期高齢者医療特別会計	1,672,692,339	1,646,335,523	26,356,816
総合計		46,539,943,811	44,214,094,797	2,325,849,014

下水道事業会計

（単位：円）

	収入決算額	支出決算額
収益的収支	1,615,846,608	1,319,335,461
資本的収支	615,358,688	1,150,375,581

SNSで市議会の情報を発信しています！
X（旧Twitter）
facebook